

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果
作成日

平成23年3月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2771900913		
法人名	社会福祉法人 慶生会		
事業所名	北条グループホーム		
サービス種類			
所在地	大阪府大東市北条七丁目4番1号		
自己評価作成日	平成22年12月25日	評価結果市町村受理日	平成23年3月15日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	(基本情報リンク先URLを記入)
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 カロア
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル
訪問調査日	平成23年1月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・近隣との交流を深めるため、地域の行事にはできるだけ参加しています。 ・利用者、職員がいつも元気で明るく笑顔の多いグループホームです。 ・尊敬の気持ちで接し、不安なく生活ができるよう、さり気ない気配りに努めています。 ・日常生活ではかなえられない利用者の想い、希望を一年に一回「主役行事」という場を設定し家族と一体になりその人がキラキラと輝く時を提供できる取り組みを実施しています。主役行事と個人への手作り新聞は家族より高い評価を頂いております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>近隣に商店街や野崎観音があり、散歩や買い物、地域行事の参加するなど、地域との関係を大切することで、ホームへの理解が得られています。入居者の思いをかなえる行事として主役行事を企画し、旅行や外出を積極的に取り組まれています。スタッフは明るく笑顔で対応され、職員間の意見交換も頻繁に行われており、入居者の生活の質の向上に向けて一丸となり取り組まれている姿勢を感じました。併設の有料老人ホームや同法人内の特養との連携が図られており、入居者が安心して生活ができるように配慮されています。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年事業計画作成。事業方針の中で、地域密着型サービスとしての理念を入れている。 ・品質方針をスタッフ控室に掲示している。 ・フロア毎の理念もあげケアの品質向上に取り組んでいる。 	地域社会と関わりを大切にするホームを目指し、理念として「和敬・愛語・感謝」を掲げられています。又、各フロア毎にも理念を掲げられ、職員間で話し合い共有されています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスーパーに買い物に行ったり、地域の行事、地域の方との食事会などに参加。 ・クリスマス会には地域の民生委員の方に参加していただいている。 ・近隣の子供が遊びに来たり、おやつを作って持ってきて下さったりする。 	日頃から近隣の方との関わりを大切にし、気軽に話をしたり、お裾分けをいただいたりしています。気軽にホームに立ち寄ってもらえるよう環境作りにも努めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する映画を地域の方に観ていただく ・地域の秋祭りには、地域の方の休憩場所として敷地内駐輪場を提供している。 	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議において、利用者、家族の意見・要望を聞いたり、利用者の日常生活の様子をビデオで観ていただく機会を設けている。 	家族の参加が毎回多数あり、積極的に意見交換ができる場となっています。日頃の様子も伝えながら、運営に関する意見を聞きだしやすい環境作り、運営に反映されています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正に伴い不明な点等、気軽に市の相談している。 	同一法人の行事等に市町村の担当者と一緒に参加し、その中でホームの現状や取組みについて意見交換されています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止にかかるマニュアルを作成周知 ・内部研修にて職員への周知を行っている。 ・日常のサービス提供時、身体の動きの制限だけでなく、言葉のブロックも身体拘束になり得ることを周知 	玄関や各階にスリーキーによる開閉となっていますが、番号を壁に書かれており、誰でも出入りできるようにしています。身体拘束のマニュアルに沿って職員の意識付けのために定期的に研修を実施されています。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあれば随時、連絡事項にて周知し速やかに対応している。 	/	/

8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・事業所内での伝達研修実施している。 ・正面玄関に、いつでも誰でも閲覧しやすいようにパンフレット等設置している。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約をする前に必ず見学をしていただき、生活の様子、雰囲気、サービスの実際を確認していただいている。		
10	6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・日常生活の中で利用者の言葉や態度から気持ちを理解するように努力し、又言葉に表せれない方は色々と試し表情を見て見極め職員間周知し本人の意向に沿った援助を行っている。 ・家族にもこまめに報告、相談を行っている。	意見箱の設置や家族の満足度調査を実施し、要望や意見を聞く機会を作っています。又、面会時に話しやすい雰囲気作りを心がけています。	
11	7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	・フロア入り口に苦情・相談・要望を受け付けるご意見箱を設置。又、面会時、電話連絡にて日頃の様子を職員から伝えコミュニケーションを図っている。 ・家族満足度調査も実施している。	会議やカンファレンスなどで職員の要望や意見を発言できる機会を設けています。出された意見は法人全体で検討し、反映できるよう努められています。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・各自の希望する休みは取り入れ、有給休暇もとりにやすいように勤務調整を行っている。 ・フリーの職員を定期的に配置し、手厚い勤務体制を確保している。		
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・事業所内毎月の研修、外部研修にも参加できるように配慮している。 ・研修に参加していない職員への伝達研修も行い周知している。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・近隣グループホームと定期的に意見交換行ったり、見学実施し、良い取組みを学んでいる。		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・家族からの情報の聞き取り、生活習慣、困っていること、興味のある事の情報収集を行い、本人の思いを尊重しスタッフ全員共有できるようにしている(センター方式より抜粋している)	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・自宅に訪問して家族からの情報の聞き取り、生活習慣、家族の困っていること、ほかのサービス、利用時の様子、本人の思い、家族の思いを聞き取り信頼関係に繋げている。入所まで定期的な連絡、ホームへの見学にも来ていただいている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人の思い、家族の思いを優先し、他職種との連携を図り必要なサービスが利用できるようにしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・日常生活において家事、レクリエーションを中心に利用者の得意なこと、生活の知恵等を職員が教わっている。調理方法・洗濯干し、洗濯たたみ、掃除の仕方、布ぞうり、縫い物、編み物等。 ・人生の大先輩と尊敬し、職員の悩みを相談。	
19		○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ケアプラン作成時にも家族の要望を聞き、サービス実践に繋げている。 ・随時、職員より報告し、その都度、家族の要望は聞き、家族様も協力的に行っていただいている。	
20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・住み慣れたなじみの場所に行きなじみの知人に会って話をしたり、行きつけの美容室、昔から行っている教会、昔馴染みの飲食店、買い物へと行っている。	地元の入居者が多く、通い慣れた美容院やお店などへ家族や職員に付き添われて出かけられています。習い事を続けられたりし、関係が継続できるように支援されています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・気の合う方々と楽しく過ごす時間を過ごし、より良い関係づくりに努めている。 ・出来ない方へのお手伝いをさせていただいたり等、利用者様同士が支えあっている関係づくりに職員が配慮している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・契約終了しても、利用者の見舞いに行ったり、訃報を聞けば葬儀に参列している。 ・退居者の家族より近況についての連絡もある。	

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、又は家族の思いを尊重し、行事等を計画し実施している。 ・言葉に出せない方等、色々とアプローチし本人の良い事を進めたり、家族よりの情報を得ている。 	<p>主役行事として、家族と外出をしたり、コンサートを 見に行ったりなど、本人の 思いをかなえる行事を企画 されています。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からはセンター方式を活用し情報収集行ったり、親戚、知人、ケアマネ等からの情報を得ている。 		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の行動から睡眠、排泄、体調の変化等を把握するように情報交換おこない支援している。 ・本人のできる事、やりたい事の把握、家族にも相談し支援している。 		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の希望を取り入れて反映している。 ・本人の生活歴、こだわり、望む生活を取り入れ介護計画書を作成している。 	<p>本人や家族との関わりあ いの中から、意向や希望 を聞き、介護計画に反映 されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状態変化は生活記録、職員連絡事項にて職員間での情報を共有している。 ・日々の生活記録に個々の気づき、発見を記入し情報共有行っている。 ・生活記録にケアプランの内容を記入し、日課で取り組み全スタッフがケアプランの内容を把握でき実践出来るようにしている。 		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイの受け入れを実施している。 		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の消防署と避難訓練を実施して色々と教わったり、地域の学生(小、中、高校生)、養護学校との福祉体験を実施している。 		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医による定期的に往診あり、24時間連絡可能な体制にある。 ・内科1回/週、歯科2回/月、眼科1回/月、往診あり、連携を図っている。 	本人、家族が希望する医療機関の受診が可能で、受診の支援を家族と連携して行われています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・身体状態の変化や急変時には、かかりつけ医に連絡を取り支持を仰いでいる。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、病院側との連絡を密にし対応行っている。 ・入居時の様子、入院時の様子、退院後の対応方法等の情報共有行っている。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に指針の説明を行い理解を得ると共に、利用者の状況をこまめに家族へ連絡。 ・重度化の対応としては、家族様とも相談し特別養護老人ホーム等と連携し移って頂く等の対応もとっている。 	本人や家族の希望の意向を聞き、できる範囲での対応をされています。併設特養入所も含めた意向に沿った形の支援に取り組まれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応について、看護師より定期的に研修会を実施し、体験しながら習得している。 ・マニュアルを作成し緊急時の対応を周知徹底している。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練を年に2回行なっている。 ・災害に備え、水・米等を各ユニットで備蓄している。 ・1階厨房食品庫に併設事業所の食料品を保管しており、災害時に活用できるようにしている。 	年2回の防災訓練を実施されています。マニュアルや通報一覧表なども整備され、職員研修で周知を図っています。又、災害時に備え食糧の備蓄もされています。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>・日々の介護場面でも、個人に対する尊厳の気持ちで接する対応を心がけている。 ・研修会等でプライバシーに関する職員の意識向上に努めている。</p>	<p>明るく笑顔で対応され、言葉かけは丁寧で気持ちに配慮し対応されています。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>・日常会話の中で、個々に声掛けをし、一つ一つの作業・行動において必ず声掛けをし本人の理解を得たり、これで良いか確認しながら意思表示して頂く様に支援している。 ・参加したい外出行事には事前に本人に聞き取りを行い本人の意思尊重する。</p>	/	/
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・利用者一人ひとりに合わせたペースで急がせる事なく支援している。本人の気持ちを優先している。 ・その日の利用者の健康状態や天候等に合わせて臨機応変に取り組んでいる。</p>	/	/
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>・洋服は本人の好みで選択して頂き、外出時は鏡を見ながら本人に確認取り、お化粧品・髪型、スカーフ等で本人の好むオシャレを支援している。 ・昔から、行きつけの美容室に家族と行っている。 ・誕生日プレゼントには、本人とショッピングに出かけ衣類やアクセサリー等を選んでもらいプレゼントしている。</p>	/	/
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・朝食・昼食のみホームにて職員と利用者さんと調理し、利用者の誕生日には、本人の好みを聞きメニューに組み込んでいる。 ・朝食等はお粥・パンで選択して頂き提供している。他にもメニューの要望があれば組み込んでいる。おせち料理、クリスマス会ではホームでの手作り提供。 ・片付けは、職員だけで行うのではなく声を掛けて下さる方とペースを合わせ一緒に行っている。</p>	<p>朝食・昼食は、入居者の状態に合わせて、できる部分を職員とつよに調理されています。誕生日には本人の好きな食事を提供し、楽しみを持って食事となるよう心がけておられます。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>・栄養バランスについては施設内の栄養士作成のメニューで調理し、提供している(昼・夕のみ) ・嚥下困難な方、食の進みが悪い方等にはお粥・おにぎり・ミキサー食・刻み食・トロミ食等で提供している(水分はお茶ゼリーを提供する方もいる) ・水分摂取量も全利用者、水分チェック表に記入し好みの水分、進みの良い時間帯を把握し水分補給に努めている(水分摂取困難な方にはお茶ゼリー、トロミ茶等で提供している)</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・かかりつけの歯科により、口腔内を検査・ケアしている。 ・毎食後、歯磨きの声掛けを行い職員が見守り、磨き残しがあれば手伝わせて頂いている。 ・出来ない方には、介助行ったり口腔内ガーゼにて清拭・うがいなど行っている。</p>	/	/

43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	・排泄パターンを把握し、声掛けしトイレ誘導を行っている。また、Nsコールにて気軽に声を掛けて頂けるように配慮している。 ・訴える事の困難な方には、サインを早い目に把握しさりげなくトイレ誘導を行っている。トイレの場所も分かりやすく表示し、気持ちよく使用して頂けるように、清掃・整備に心掛けている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分を多めに摂って貰ったり、食物繊維・乳製品を多く摂取してもらう等、生活でのリハビリ、体操、散歩等で運動して頂き、出来るだけ自然排便出来る様に支援している。 ・下剤服用は、それぞれの状態に合わせた使用量・頻度で調整し薬にはあまり頼らないようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	・入浴は週2回程度。利用者様の希望もあり、曜日で固定しているが、体調・気分・その日の利用者様の予定等に応じて臨機応変に対応している。	週二回本人のペースに配慮しながら対応されています。希望や状態に合わせて、職員の勤務時間を変更して対応するなど配慮されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・利用者一人ひとりの体調、表情、日中の動き等、把握し本人の希望を考慮。 ・室温調整、照明の調整、入眠時間、起床時間、排泄時間等把握し、巡回時等こまめに確認。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・一人ひとりの服薬ファイルを作成し、職員が把握しやすいようにしている。 ・服薬時は、日付・名前を声に出して読み間違いのない様にし、口腔内を確認し服薬確認もきっちり行っている(服薬4原則徹底) ・薬管理は看護師が行い、薬箱へセットする際は、介護職員2名で確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・利用者の出来る事を把握し、食器洗い、調理準備、調理盛り付け、洗濯干し、洗濯たたみ、居室掃除、廊下の掃除等、本人の気持ちを優先し取り組んで頂いている。 ・利用者の、嗜好を把握し散歩、行きたい場所やしたい事があれば、要望を聞き可能な限り支援できるようにしている。		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣散歩は天気が良い時は、出来るだけ出かけている。ベランダや、苑内にて気分転換を行う事もある。 ・ドライブ、スーパーやデパートに買物等、利用者の要望に沿った支援を行なっている。 ・本人が「旅行したい」と希望すれば家族と相談し職員付き添いの元、京都に旅行に行った事もあった。家族の要望有り、孫の結婚式にも職員付き添い出席した。利用者が自由に家族の方と、旅行・食事・里帰り・温泉などにも行っている。 ・2ヶ月に1回、本人の好きな物を聞き取り提供できるように外食会も行なっている。 ・主役行事も取り入れ、利用者様と家族様と話し合い、年に1回主役になれる日を作り昔馴染みだが普段行けないような所、行きたい所へ一緒に出かけている。 	<p>近隣のスーパーに買い物に行ったり、外食や通院などを通して日常的に外出できるように支援されています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小額(1万円まで)のお金を持っている方もおられ、各自にて管理している。 ・買物時、本人の好きな物(おやつや好みの衣服)を購入してもらい、お金の支払いも可能な方はして頂いている。 		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・居室に電話を設置したり、携帯電話を持ち込み本人がかけたい時にかけるような支援を行なっていることも有り。電話のない方も、希望があれば通話の支援も行なっている。 		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂やリビングも採光も良く、ソファを設置しくつろいで過ごして頂けるように努めている。 ・フロアには四季を通して楽しめる雰囲気作りを利用者と職員と一緒に取り組んでいる。 	<p>共有リビングは、明るく清潔で、ゆったりしており、壁には入居者の詩や家族の作品などが飾られ、入居者が快適に過ごせるように配慮されています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングにソファを置き、気の合うもの同士でお茶を飲みながらくつろげる空間を提供している。 ・日向を好まれる方には窓際の席を提供し、また一人になれる空間作りも随時、行っている。 		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で使っていた、馴染みの家具、食器、テレビ、ポット、家族の写真等を持ち込み本人が、居心地良く過ごせる工夫をしている。家具の配置も家族と本人で相談しレイアウトしてもらっている。 	<p>居室に家族の写真やテレビなどを持ち込まれています。又、ベッドサイドにクッションやマットを置いて危険のないように配慮されています。</p>	<p>使用していた家具や馴染みのあるものを持ち込身積極的に働きかけ、より居心地よく過ごせるような環境作りが行われることを期待されています。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物干しの際、物干しの高さが高い方には布団干しを活用し干して頂いたりしている。 ・廊下・トイレ・浴室に手すりを設置し自立への配慮を行っている。 ・居室にプレート(写真付き)、トイレには標識、浴室には暖簾を掛けて一人ひとりが混乱なく、場所が分かるように工夫している。 		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない